

情報関連セッション発表件数、今年度も第1位！

2021年度 電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会

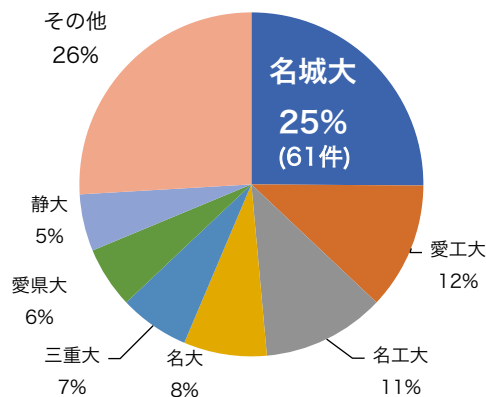
2021年9月7日(火)・8日(水)

主催：電気学会東海支部、電子情報通信学会東海支部、情報処理学会東海支部、照明学会東海支部、映像情報メディア学会東海支部、日本音響学会東海支部、IEEE名古屋支部

共催：電気設備学会中部支部、愛知工業大学
Tokai-Section Joint Conference on Electrical, Electronics, Information, and Related Engineering

大会プログラム

<https://www.tokai-rengo.jp/%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%A0.pdf>



情報関連セッションでの発表数(2021)

情報工学科の学生たちの研究発表リスト (51件)

スマートフォンカメラによる布地素材の自動判別~多重解像度CNNによる識別の検討~

凹凸のある床面に残る傷と汚れの表現

CGによる床面の塗装剥離の表現

ツイートからの作品に対する感想・評価抽出

評判情報を利用したユーザの嗜好に基づく楽曲推薦手法

Instagramから抽出する観光地推薦システム

軽量暗号をベースとしたグリッチPUFの基礎検討

CNNを用いた無劣化ステガノグラフィ手法の検討

LwM2Mを利用したIoTデバイス情報の管理に関する検討

軽量暗号MidoriにおけるMAOの実装オーバーヘッド評価

Elephantの高位合成に対する評価

Twitterトレンドワードの時間経過による話題推移の可視化

単語分散表現を用いたクイズの自動生成

ページアンネットワークを用いた株価予測について

QUICを用いたNTMobileの暗号化エンドツーエンド通信の検討

NTMobileサーバ群のアクセス負荷に応じたオートスケーリングの検討

AEにおける領域分割を用いたタイミング攻撃の高効率化

NNPUFのユニーク性を向上させるレスポンス生成手法

SemanticAdversarialExamplesにおける効率的な摂動追加の検討

動画視聴が自動車運転に及ぼす影響

横になった状態でPCを操作する手法の提案

指先を見る必要のない文字入力手法の評価と改良

ビット演算を実現するニューラルネットワークの構成について

光ファイバ網監視システムにおける長期間稼働が可能なエンドノードの検討

複数台カメラを用いたバス乗降者識別精度向上に関する検討

実フィールド空間における「ながらスマホ」判別精度の検証-ながら歩行、非ながら歩行、静止状態での検証-

スマートフォンの所持方向に依存しない「ながらスマホ」判別手法の一検討

ながらスマホ検出システムにおける機種依存性に関する検証-ながら自転車状態を含めた検討-

ながらスマホ検出システムの機種に対する汎用性向上に関する検討

心拍計測に基づく生体磁気刺激によるドライバ覚醒度合の評価検証

CPPM型KCQ量子暗号における量子利得の符号化による改善

擬似ベル状態を用いた非対称型量子通信方式

フリッカレス可視光通信に向けた輝度変調と色変調の比較検討

FSKを用いた可視光通信におけるフリッカレスとなる条件に関する基礎的検討

極小スマートウォッチ用の文字入力ボードの改良

短いストロークで選択するスマートウォッチ用文字入力手法

指先を見る必要がない片手文字入力方法

画面直径1インチのスマートウォッチの文字入力手法

ランダムな試行によるルービックキューブの評価関数の構成

Kraus作用素による量子消失誤りの表現

使用状況と天候を考慮したアスファルト路面の表現

豪雨時のフロントガラスの表現手法の改良

IoT技術を活用したゴミ回収状況可視化システムの検討

CNNを用いた音響による接近車両検出における到来方向情報の統合方法に関する基礎的検討

ニューラルネットワークを用いた道路環境音からの車両接近検出に関する検討

ニューラルネットワークを用いた音響による二輪車両の検出に関する基礎的検討

LoRaWANネットワークに接続したスマートバス停の遠隔管理方法の検討

物語テキストの会話文からの関係抽出

説明文を3人のチャット形式へ自動変換するシステム

場面の印象判定に基づきBGMを流す電子書籍リーダー

線形予測分析に基づく声道断面積関数推定における分析パラメータの検討

この大会では毎年、大学4年生や大学院生が自分の取り組む研究を、数多く発表しています。

今年も情報関連セッションには、名城大学の学生が61件エントリーし、そのうち情報工学科の学生が51件を占めています。